

「聾話学校」から日本で唯一の「きこえの学校」へ
次の100年に向けて新校名と共に新たなスタートを切ります



きこえの学校 ライシャワー学園

聴覚主導の人間教育の可能性を信じ、より広く届けるために

1920年の創立以来、聴覚障がい児の残された聴力を最大限に活かし、

手話を使わずに聴いて話す教育を行う学校として、

日本の聴覚障がい児教育のバイオニアとして歩み続けてきたのが日本聾話学校です。

この100年で聴覚障がい者を取り巻く社会環境や、医療、補聴技術は劇的な変化を遂げ、

多くの難聴児が一般の幼稚園や学校に通うようになりました。

しかし聴覚障がい児を育てるためには高度な専門性が求められていることには変わりはありません。

このような中でインクルーシブ教育と手話教育の狭間で過ごし、

聴覚を活かす専門教育を必要としている難聴児が多くなります。

本校は、これまで100年かけて培ってきた聴覚主導の人間教育を、

より多くの方に知っていただきたい、必要とする子どもたちに届けたい、そう願って

2025年4月から、法人名はそのままに、学校名をきこえの学校「ライシャワー学園」と改めます。

また本校併設の児童発達支援センターを「きこえサポートセンター」と改称、

放課後等デイサービスや保育所等訪問支援の事業を開始(予定)し、

地域の難聴児に対する支援の充実を図ります。

これからも聴覚主導の人間教育の可能性を信じ、

伝統の上に進化を重ねる学校として歩みを進める覚悟を持って

新たなスタートを切ります。



ライシャワ
一家

創立者の願いと信念を継承する思いを
新たにするための新校名としました

写真：学校法人 明治学院 歴史資料館 所蔵



学校法人 日本聾話学校

きこえの学校 **ライシャワー学園**

きこえサポートセンター・幼稚部・小学部・中学部

〒195-0063 東京都町田市野津田町1942

TEL 042(735)2361

FAX 042(734)8292

URL <https://nrg.ac.jp>

校名変更
についての
詳細はこちら



この件についてのお問合せは
副校長 瀬底が承ります

▶ nrg2@nrg.ac.jp

関係各位

2025年1月10日
学校法人日本聾話学校
理事長 水口 洋
校長 鈴木 実

校名変更のお知らせ

澄み渡る凜とした空気の中、暖かな陽の光に心も温かくなる季節となりました。皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本校の教育の取り組みに多大なるご理解とご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。

さて、去る2024年11月13日に行われた本法人の理事・評議員会におきまして、本校は、法人名はそのままに、学校名を変更することが決定されました。

これにより本校は2025年4月1日から、

「学校法人日本聾話学校（きこえの学校）ライシャワー学園」

という新しい学校名(カッコ内は通称)で新たな歩みをスタートすることになりました。またこれに合わせて、併設の児童発達支援センター ライシャワ・クレマ学園は、「ライシャワー学園 きこえサポートセンター」という名称に改めることになりました。

学校名を変更する理由とその思い

本校は104年前にライシャワー夫妻によって創立され、「日本聾話学校」と名付けられました。この校名は、本校創立の理念を高らかに宣言するものであり、長年にわたり日本の聴覚障がい児教育のパイオニアとして歩んできたこの学校を愛する全ての人が誇りに思っ大切にしてきたものです。この思いは今も少しも変わることはありません。

しかしこの度、その大切な校名を変更することにいたしました。創立から100年を経るなかで、医療や補聴器等の技術、また障がい者を取り巻く社会環境は大きく変化し続けてきました。そしてそれに合わせて本校の取り組みも変化してきました。近年になりこの変化の状況はさらに大きくなっています。私たちは、これまで大切にしてきた創立者の思いや教育の在り方をしっかりと継承しつつ、新たに担うべき役割を再確認し、さらに先進的な取り組みを前に進めていくことを内外に示す必要があると強く感じ、また本校の教育を、聴覚を活かした教育を行っている学校を探している人により広く知っていただき、本校が行うことが出来る支援を届けられることを願い、学校名を変更するとの判断に至りました。

本校が進める新たな取り組みとして、町田市をはじめとする近隣の自治体と協力した早期からの切れ目ない支援の実現、児童発達支援センターの機能の拡充、診療所の開設に向けた準備などの取り組みを進めています。

これまで未就学児を対象としてきたライシャワ・クレーマ学園が「きこえサポートセンター」となり、支援の対象を18歳まで拡大し、インテ生や卒業生そしてそれ以外の地域の学校等に通うすべての難聴児を対象とするようになります。また、補聴器・難聴外来専門の耳鼻科診療所を2026年度中に開設することを目指して準備を進めています。診療所が開設されれば、在校生や卒業生だけでなく、きこえのことで困っている高齢者を含めたすべての方を対象に、本校がこれまで培ってきた専門的な支援を届けることができるようになります。

キリスト教精神に基づき、一人ひとりを愛し大切にしながら、子どもの持つ可能性を感じ、豊かな関わりの中で、聴いて、話して、心開いて他者と関わる人になるよう育てること。そしてその時々最先端の機器を活用しながら一人一人のきこえとことば、その子が持つ能力の最大限の成長を促すこと。これがこれまで100年かけて積み重ねてきた本校の伝統です。この伝統を一つも損なうことなく、更に充実した取り組みを前に進め、より多くの聴覚障がい児のためにこれからもこの学校の歩みを進めていきたい、そう願って教職員一同で決意を新たにしております。

これからも本校の取り組みを末永く見守り、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

2025年1月10日

